

●指導計画

○学年 第5学年

○主題名 責任を果たす (内容項目 C16 よりよい学校生活, 集団生活の充実)

○本時のねらい 係の仕事が残ってしまい, 腹がたった「ぼく」の気持ちを考えることを通して, 集団における自分の役割や責任を果たす大切さに気付き, それらを進んで果たそうとする道徳的態度を育てる。

○資料名 「残った仕事」 出典:「道徳5 希望を持って」(東京書籍)

○学習指導過程

段階	学習活動	発問 (○主な発問, ◎中心発問)	指導上の留意点 (○支援☆児童への評価の観点)
導入	1 本時の課題に触れさせる。	○責任を果たすとは, ということなのだろう。	○委員会や運動会の係活動での役割を意識させる。
	2 久しぶりのよい天気, 校庭からも楽しそうな声が聞こえてくる中で仕事を始めた「ぼく」の気持ちを考える。 3 次郎が道夫や佐代子に話しかけているのを聞いていた「ぼく」の思いを考える。	○久しぶりのよい天気, 校庭からも楽しそうな声が聞こえてくる中で仕事を始めた「ぼく」はどんな気持ちだったでしょう。 課題意識をもつ 【実態把握】【有機的な関連】【体験活動】 委員会や運動会の係活動での役割を想起させ, その時の気持ちなどを引き出し, 課題意識をもたせる。 ○次郎が道夫や佐代子に話しかけているのを聞いていた「ぼく」は, どのようなことを思ったでしょう。 ○「いいわ, わたしやっであげる。」と佐代子が言い, 道夫がうれしそうに出ていったのを見た「ぼく」は, どのような気持ちだったでしょう。	○「とらえる」場面は, 短時間で内容を押さえ, 深める場面で十分に時間が確保できるようにする。 ○自分でも遊びたいのをがまんしている主人公の気持ちに共感させる。 ○次郎の勝手な言い分に対して, 道夫や佐代子が断ってほしいと願っている主人公の心情を押さえる。 ○係としての責任を考えない道夫や, 勝手な行動を身代わりになって認めてしまう佐代子に対して, 批判的になっている主人公の気持ちを理解できるようにする。
展開	4 はらがたつてしかたがなかった「ぼく」の気持ちを考える。	◎はらがたつてしかたがなかった「ぼく」は, どのようなことを考えていたのだろう。(ワークシート) 【資料分析】 根拠を問う発問等で, 「責任を果たすこと」についての考えを深めさせる。 ○どうしてそう思いましたか。 ○佐代子のしたことをどう思いますか。	○道夫の無責任さと同時に, 引き受けたからには責任があるということをも十分理解できるようにする。 ○ペアで読み合って話し合った後, 全体で交流する。 ☆責任が果たせなかったことに対する「ぼく」のくやしさを共感的にとらえているか。 ○責任を果たすことのよさを理解し, 自分との関わりとして自分なりに発展させていることへの思いや課題が培われるようにする。
	5 責任を果たすとは, ということなのか考える。	○責任を果たすとは, ということなのだろう。	
終末	6 自分の役割を責任をもって行っている人を紹介する。	○責任をもって仕事をしている人を紹介します。 ○今日の学習を通して考えたことや新たに分かったことをふりかえろう。	○「ハッピーの木」から責任をもって仕事をしている人を紹介し, それぞれの役割を認め合えるようにする。 ☆今までの自分の役割へのかかわり方について見つめているか。

課題について再度確認する 【資料分析】
導入でもった課題意識を, 終末で再度確認し, 資料から離れて自分の生活につなげ, ねらいに迫った道徳的価値について考えさせる。

【有機的な関連】
自分事として考えられるようにする。